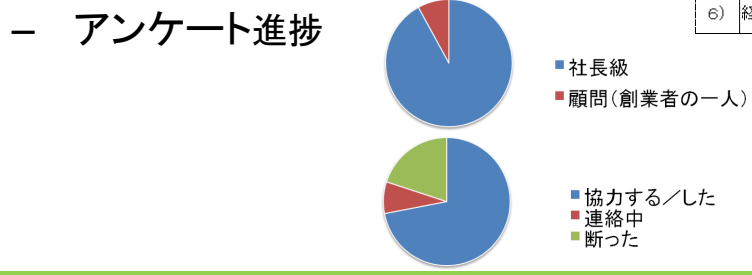


- 研究目的
 - 小さいが元来日本のIT企業の企業文化の特徴を分析する。
 - 日本のIT業と製造業の企業文化の特徴を比較して分析することである。
 - 日中IT企業の企業文化の特徴を比較して分析することである。
- 研究意義
 - 企業組織が再生し、元気になるための変革に企業文化論アプローチを提示する。
 - 日中IT企業間の相互理解のための理論的根拠を提供し、ビジネス交流を促進する。
- 研究方法
 - インタビュー
 - 経営者
 - 構造化(11の質問項目)
 - 45min
 - アンケート
 - 従業員
 - 109の質問項目
- 進捗状況: 日中企業を、合計25社
 - インタビュー進捗

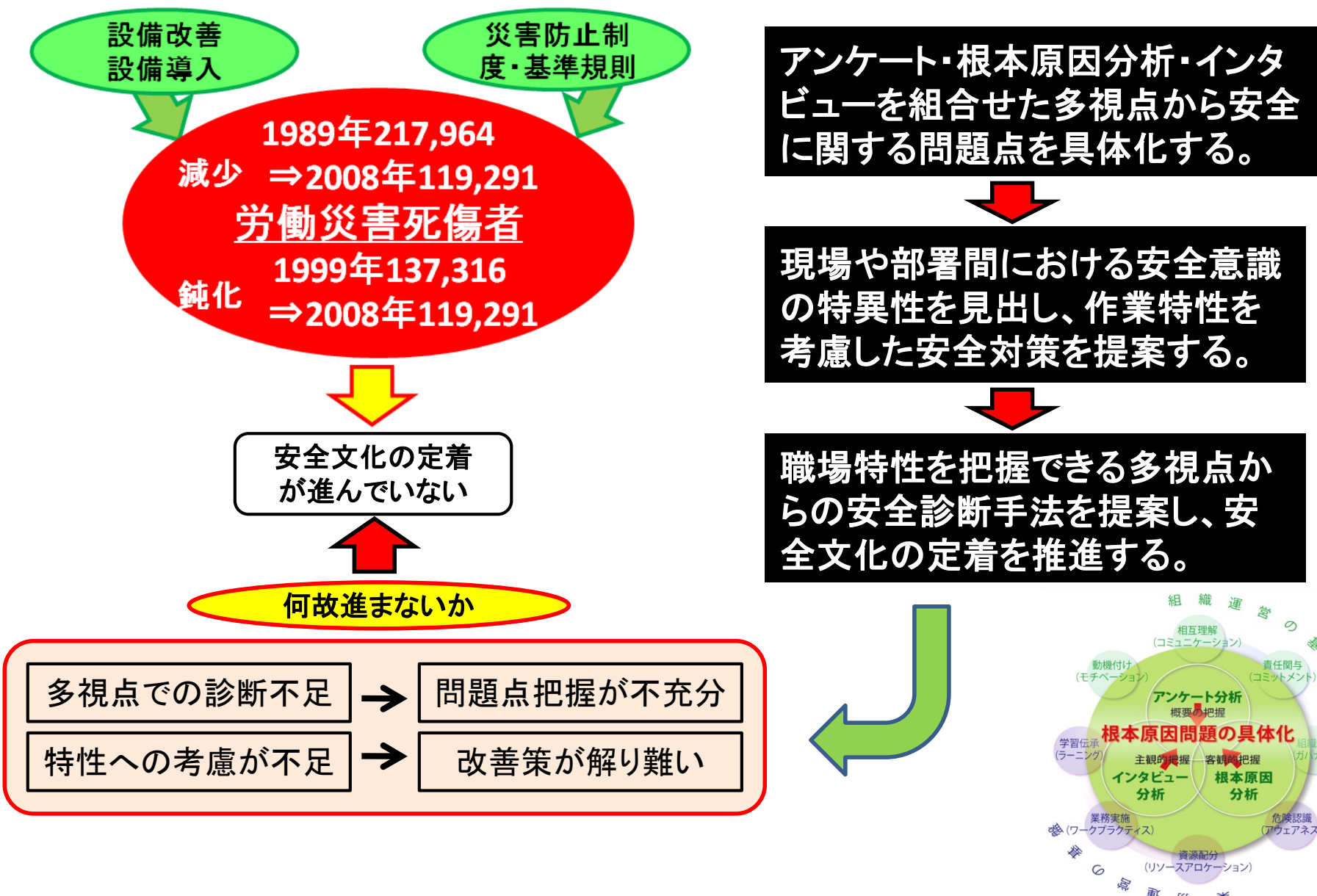
アンケート質問項目例

あなたが貴会社に対して感じていることについて、当てはまる番号を回答用紙にマークしてください。

質問項目	全くない	ややない	ややある	ある	非常にある
1) 経営陣は「儲け優先」のため、新しいことに本気で取り組んでいる。	1	2	3	4	5
2) 経営陣はリスクを恐れないで新しい事業に挑戦している。	1	2	3	4	5
3) 経営陣の発言と社内情報が一貫している。	1	2	3	4	5
4) 経営陣の発言は対応するスピードが速い。	1	2	3	4	5
5) 経営陣は自分たちが実現したことが上手にいかにかかっている。経営者層に共通している。	1	2	3	4	5
6) 経営陣は本気で経営方針を実践しようとしている。	1	2	3	4	5

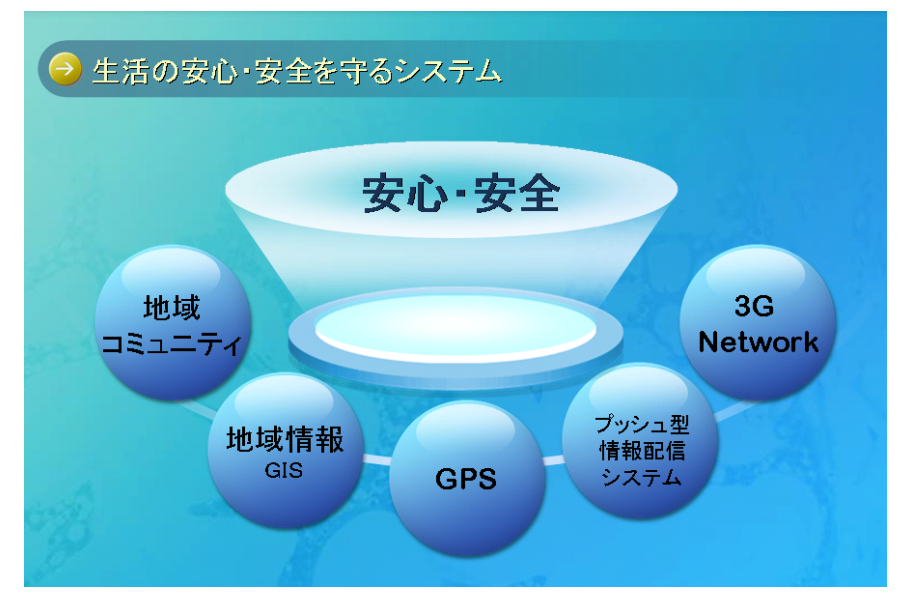


製造現場における安心安全システム構築の研究
Improvement of safety awareness on production site



研究目的

- 身近なTechnologyを組み合わせ、生活上の事故を未然に防ぐことで、生活の安心・安全を確保できるシステムをデザインする。
- 都市化による様々な問題を地域コミュニティを構築することにより解決する社会インフラを構築する。



To-By-Using

- TO: 生活の安心・安全を確保する
- BY: 危険な場所を事前に警告する、地域コミュニティを利用し、安心安全の輪を広げる
- USING: GPS/ブッシュ型情報配信システム/ソーシャルキャピタル

チームワーク向上のためのトレーニングプログラムの開発研究
Training program to improve for teamwork

研究概要 現在のチームワークトレーニングは、原子力発電所の運転員やパイロット等の特定の業種や職種を対象としたもの、もしくはより幅広い職種を対象とした、企業のチームワーク研修等で行われる一般化されたトレーニングのものがほとんどである。

特定の業種および職種を対象 (パイロット, スポーツチーム, 医療チーム, 発電所運転員)

より幅広い職種を対象 (企業のチームワーク研修等で行われる、一般化されたトレーニング)

チームの職務特性に合わせられるトレーニングが必要

実験概要 研修は講義180分+15分休憩の約3時間の研修を行い、そこでチームワークを向上させるためのアクションプランを立ててもらった。そしてそのアクションプランを約3カ月の間実際に行ってもらい、その後フォローアップの研修を行った。

実験結果 この研修に総合的に満足していますか? (N=42)

そう思う	42%
ややそう思う	25%
ふつう	33%

今後の予定及び課題

- ①実際に現場に行って参加観察やインタビューを行い、本当に現場でチームワークが向上しているかを測定する。
- ②チームワークが向上したとすれば最終的に業績等の結果にどのように影響しているかを測定する。

石油・化学事業所における安全診断システムデザインの研究

事故発生の過程 (図1) 近年発生した大規模プラント及び大規模システムの事故を俯瞰すると、システムそれ自身が持つ安全裕度の問題があった例もあるが、それを取り巻く社会環境、組織(運用)環境、人的過誤が間接的に関わった事例が圧倒的に多い。これらの組織要因に良い影響を与える要因の1つとして「安全文化」がある。

安全文化の3層モデル (図2) 「安全文化」を端的に表現しているのが、文化人類学者Edgar Sheinの安全文化の階層モデルである。当研究では、安全文化の3層モデルに基づき進める。

研究概要 当研究では、安全文化の3層モデルにおける第1層・第2層・労働災害件数のデータを収集し、それぞれの関係を分析する。

スーパーマーケットにおける地元産食料品販売マーケティング戦略の提案
Proposal consumer marketing strategy of local food in the supermarket

研究背景 食料自給率の低下、食料輸送環境問題、地域産業の衰退、小売競争の激化など...

多変量解析を用いた解析 相関分析、因子分析、クラスタ分析、共分散構造分析

調査 アンケート調査: 新鮮食品に関する設問、加工食品に関する設問 ⇒ 消費者に対して実施

提案 マーケティング戦略の提案: アンケートデータ解析結果に基づき、マーケティング戦略を複数提案!!

検証 妥当性の検証: 経営側のデータとの比較、インタビュー調査、小規模実験

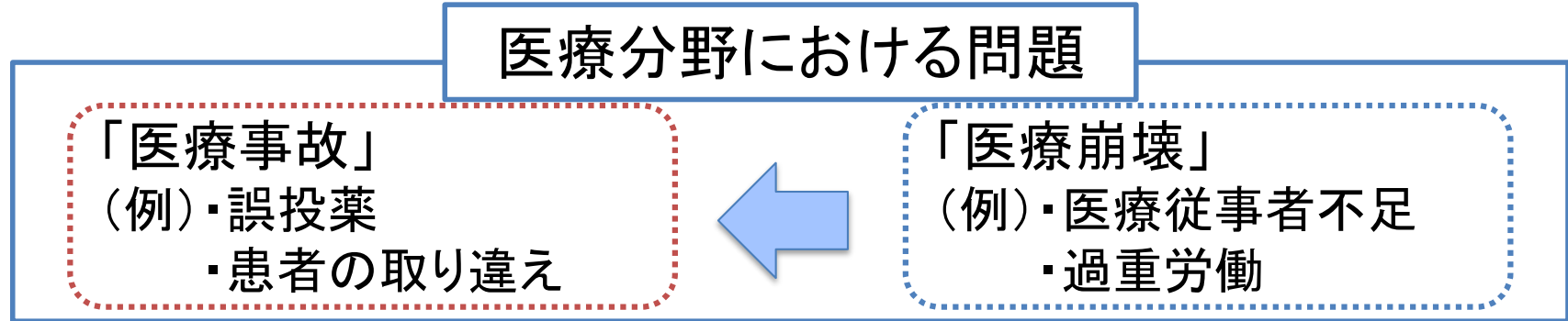
上記のプロセスより... **スーパーマーケットでの地元産食料品最適マーケティング戦略の提案を目的とする!!**

高野研究室 研究概要 SDMI

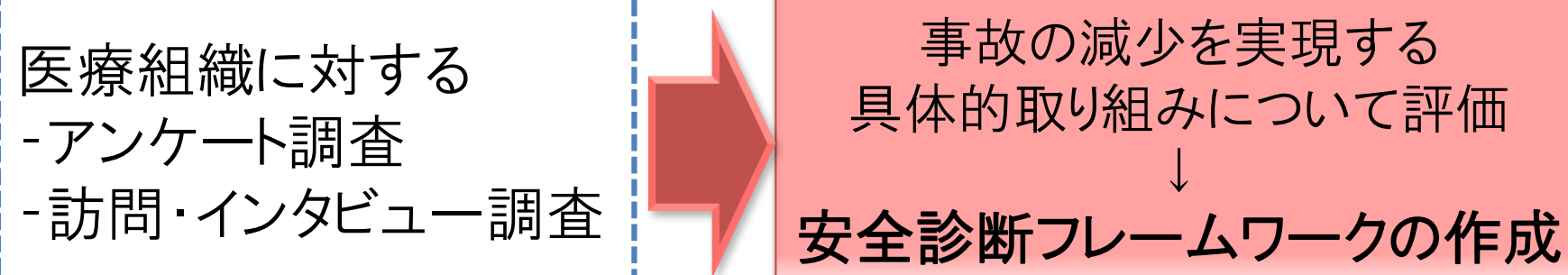
医療分野を対象とした組織風土・文化の実態的調査研究
Improvement of Work Environment and Culture Towards Prevention of Medical Accident

【研究の概要】

医療事故の発生しにくい組織風土の形成に向けて、医療組織に対する調査・分析により実態を明らかにする



医療事故が発生する原因: 組織風土・文化に影響される
⇒ 医療組織における「安全文化」の重要性に着目する



ストレス軽減のための効果的な感覚刺激の組み合わせの提案
The Proposal of the Effective Combination of Stimuli to Reduce Stress

研究背景 高度化、複雑化した現代社会の急激な変化により、人々は心理的、身体的にストレスを感じている。

森林浴やアロマセラピー等のストレス対処法が注目されている。

研究目的 森林浴やアロマセラピーなどの感覚刺激を用いたストレス軽減方法について、生理指標や心理指標を用いて明らかにし、感覚刺激の効果的な組み合わせを提案する。

研究内容

